



REDEE

住所 : 〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園 2-1
EXPOCITY 内

時間 : 11:00-20:00 (最終入場 19:00)

TEL : 06-6155-7299

HP : <https://redde.game/>

プログラミング 無料体験から はじめよう

REDEEで学べるカリキュラムの中から
プログラミングを無料で体験できます。
小学校低学年向けには「Scratch」を、
小学校高学年向けには「マイクラフト」を
使ったカリキュラムを提供しています。
受講後には月額「メンバーシップ」の説明や
館内のご案内もできますのでお気軽に
スタッフにご相談ください。

詳細は
こちら



講義・自己学習のカリキュラムに取り組むことで、
「自ら学ぶ力」を育むためのスクールです。
プログラミングをはじめとした**デジタル技術**を
ゲームを使って学ぶことができます。

プログラミングに ハマれ



REDEE で学べること

REDEE ではプログラミングをはじめとしたデジタル技術に関連するカリキュラムを選んで学ぶことができます。「プログラミングを使えるようになりたい」「ゲームを作りたい」「パソコンの仕組みについて知りたい」といった子供たちが興味をもっていることについて、REDEE で第一歩を踏み出してみませんか。

プログラミング

「マインクラフト」や「スクラッチ」といったプログラミング用のソフトを用いてプログラミングの基礎的な知識を学びます。プログラミングとはプログラムという指示を書いて、自分が思ったとおりに機械を動かすことです。マインクラフトの世界でプログラムを書くと、ゲームの中のブロックを思いのままに操ることができます。



タイピング

プログラミングの授業が小学校で必修化され、子供たちがパソコンに触れる機会が増えました。パソコンって複雑だしキーボードとマウスを使うのも一苦労…なので REDEE ではパソコンの基礎的な使い方から学べます。タイピングのやり方を覚えれば、文章を書くのも楽しくなります。



ドローンプログラミング

プログラミングはパソコンの中のものだけではなく、空を飛ぶドローンも動かせるんです。ドローンの仕組みを学び、プログラミングを駆使して自由自在に飛ばしてみましょう。



ゲーム制作

プログラミングを学べばゲームだって自分で作れるようになります。REDEE で体験できる「Unity」は市販されているゲームでも使われている少し専門的なソフトです。覚えることはたくさんありますが、講師に助けをもらいながら少しずつステップアップできます。将来ゲームを作りたい、ゲームの会社で働きたいという人はぜひ挑戦してください。



プロゲーマーの基礎知識

ゲームをプレイすることが職業になる時代がやってきて、今ではたくさんのプロゲーマーが活躍しています。ゲームをうまくするには「集中力」「課題解決能力」「コミュニケーション能力」といった社会に出るためにも必要となるスキルが大事なんです。REDEE ではプロゲーマーになるための裏技を教えます。



受講できるカリキュラムの全リストは
WEB サイトを CHECK!
<http://https://redee.game/attend/>



メンバーシッププラン

メンバーシップはいつでも・何度でもREDEEにお越しいただき、カリキュラム(テーマごとの学習内容のまとめり)を受講できるプランです。学校の帰りに、家族がお買い物をしているあいだに、休日のお出かけに、いつでもREDEEをご利用頂けます。毎日お越しいただいても構いません。

月額料金をお支払いいただくと全てのカリキュラム(講義・自己学習・スクール)と施設のコンテンツをご使用いただけます。

講義

決まった時間に教室に集まって、講師による授業を他のメンバーと一緒に受講します。カリキュラムの最初は講義から始まります。新しい学習テーマについて基礎的な知識を身につけましょう。



自己学習

講義のあとはテキストを読みながら自分で課題をこなしていきます。わからないことがあれば講師に質問してください。課題について自分で調べて解くという習慣を身に着けましょう。



スクール

テーマについてしっかりと学びたい、という人向けにスクール形式のカリキュラムを提供しています。講義中心の構成で3か月の期間で学びます。

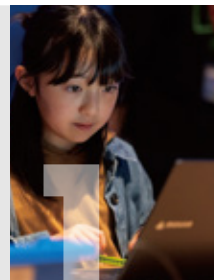


REDEE の特徴

REDEEは「ゲームを使って子供たちの学びたいという気持ちを高める」ことを目指しています。ゲームは子供が大好きな遊びです。でも子供がゲームばかりプレイしていると勉強がおろそかになって不安…ですよね。ゲームを使ったさまざまな学習カリキュラムを通じてゲームへの興味を学習意欲に変えられれば、子供たちは自発的に学ぶようになります。

子供がやりたいをすぐに叶える

ゲーム制作やプロゲーマーに関する知識は普通であれば専門学校や大学で学ぶ内容です。少し難しいかもしれませんが、「いつかやりたいこと」を少しでも体験させてあげることで、将来やりたいことの見通しが良くなり、もっと学びたいという気持ちを高めることができます。

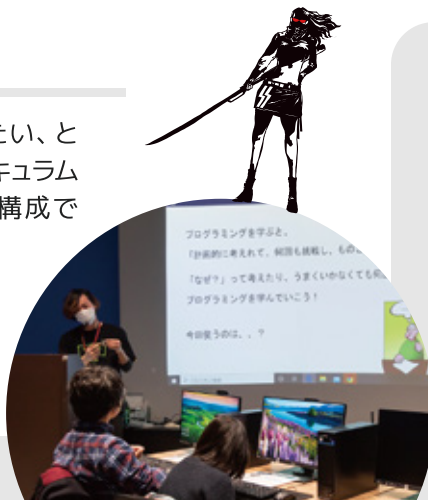


自己学習なので学童保育のように好きな時間に毎日でも自由に来館・学習できる

REDEEのカリキュラムは自己学習が中心です。だから好きな時間にREDEEに来て、自分のペースで学習をすすめることができます。館内には常にスタッフがおりますので、安心して子供たちを預けて、学ばせてあげてください。

一緒に学べる仲間をつくり、共通の話題を持つコミュニティに参加できる

ゲームが好き、何かをつくるのが好き、という思いをもっていれば、同じ思いをもった人をREDEEで見つけることができます。一人で学ぶことは大切ですが、誰かと一緒に学ぶことで新しい視点から物事を考えることができます。みんなが集まるREDEEのコミュニティに参加しませんか。



REDEE での学習の進め方



START!

デジタルに関する知識を身に着けるには積み重ねが大切です。「ステップ 1」のパソコン操作からはじめて、少しずつカリキュラムを進めてください。「この範囲はもうできているから大丈夫」という人や、「先にこちらのカリキュラムをやりたい」という人はステップを飛ばして自由にカリキュラムを進めてもかまいません。

STEP1: パソコン操作を学ぶ

対象となるカリキュラム：タイピング基礎、タイピングマスター

まずはパソコンの使い方を学びましょう。マウスとキーボードを使ったパソコンの操作には慣れが必要です。「タイピング基礎」でキーボードの配置や効率的にタイピングする方法を覚えてください。

STEP2: プログラミングの基礎を学ぶ

対象となるカリキュラム：マインクラフトプログラミング基礎、Scratch 基礎（低学年向け）



プログラミングはデジタルに関する知識の根幹をなすものです。難しいプログラムを自分で書かなくても、ブロックを動かすことでプログラムをつくることのできる「マインクラフト」や「Scratch」といったソフトを使って、プログラミングの基礎知識を身につけましょう。「Scratch 基礎」は小学校低学年の子供たちでもわかりやすいように簡単な言葉を使って講義を行います。

STEP3: プログラミングの応用を学ぶ

対象となるカリキュラム：マインクラフトプログラミング応用

「こういった動きのプログラムをつくりたい」と思った際に、プログラムのパターンを覚えておくことが重要です。「マインクラフトプログラミング応用」では座標、反復構造、条件分岐といったパターンの理解を深めることで、自分で自在にプログラムをかけるところまで目指します。



STEP4: ゲーム制作を学ぶ

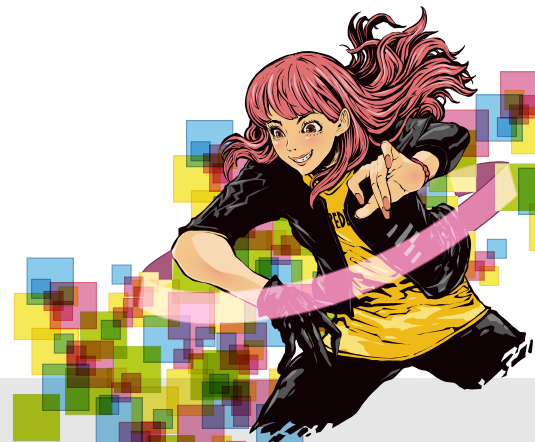
対象となるカリキュラム：Unity プログラミング基礎
Unity プログラミング応用

基礎・応用でプログラミングをかけるようになったら Unity(ユニティ)をつかってゲームを作ってみましょう。今まで覚えたプログラミングの知識とゲームデザインの知識を組み合わせれば、友達や家族に楽しいと思ってもらえるゲームをつくれるはずです。

STEP4: 興味があるカリキュラムを探す

ステップ 1～4 までのプログラミングを基本とした知識はデジタル技術を学ぶうえで欠かせないものです。ここから先は「おもしろそう」と思う分野のカリキュラムに進んでください。ゲームをつくることに興味があればゲーム制作を、アプリを開発したいと思ったらプログラミングの上級編を履修してみましょう。スクールのカリキュラムに申し込めば、プログラミングをもっと深く学ぶことができます。REDEE で「やりたいこと」を見つけてください。

KEEP STUDYING!





受講の流れ

カリキュラムは「講義」と「自己学習」で構成されています。「講義」を受講した後、自分のスケジュールやペースにあわせて「自己学習」を進めます。



講義 -STEP1

REDEE 公式 HP でカリキュラムをチェックし、講義を予約してください。

※カリキュラムによっては、講義のみ実施するものもございます。

講義 -STEP2

来館時にメンバーシップカードをお渡ししますので、受付でお名前をお伝えください。



講義 -STEP3

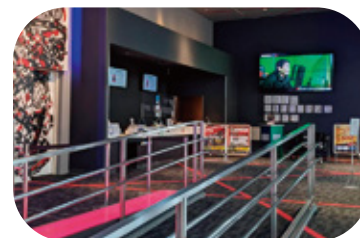
受講後、講師から自己学習用のスタンプカードをもらいましょう。



自己学習 -STEP1

2 回目以降は自己学習となりますので、ご予約は不要です。REDEE 公式 HP のマイページから自己学習のカリキュラムをチェックしましょう。

※カリキュラムによっては、講義のみ実施するものもございます。



自己学習 -STEP2

来館時、受付でメンバーシップカードを提示してください。REDEE スタッフが勉強場所をご案内します。



自己学習 -STEP3

自己学習のスタート! わからないことがあったら REDEE スタッフに聞いてください。

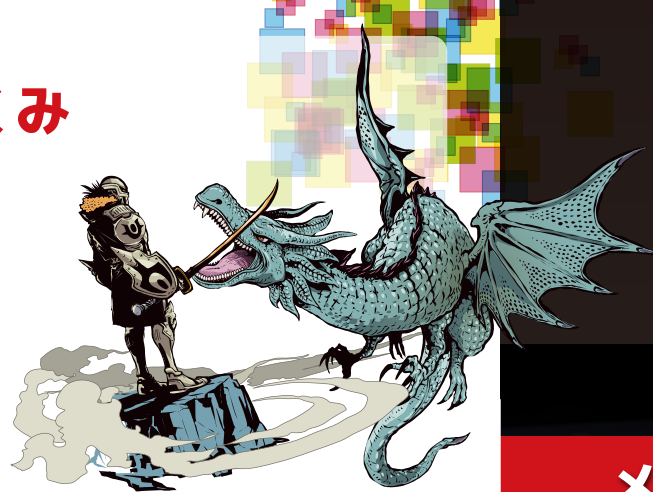
自己学習 -STEP4

学習が終わったら REDEE スタッフに伝えてください。学習単位ごとにスタッフが確認します。しっかり学習できていたら、REDEE スタッフがスタンプを押します。



RP(REDEE Point) のしくみ

REDEE のカリキュラムをこなすと「RP (REDEE Point)」が付与されます。「自分はこれだけ学んだ」ということを振り返るための指標です。RP が特定のレベルまでたまると「バッジ」をもらえます。



RPの進捗で

「子供がどれだけ頑張ったか」を
確かめる

RP をたくさん獲得し、バッジをもらうために子供たちはカリキュラムをこなそうと頑張ります。保護者の方は RP の進捗を確認して、子供たちの努力を誉めてあげてください。

バッジと景品はやる気の源

バッジは頑張りに応じた「称号」です。より高いランクのバッジを持っていると友達にちょっと自慢できます。特定のバッジまで到達すると REDEE の景品がもらえます。バッジと景品という目に見える成果は子供たちのやる気を引き出す源です。

特典

REDEEオリジナルグッズをプレゼント！



ステッカー



缶バッジ



クリアファイル

REDEE

メンバーシップ料金

通常

月額 **2,980** 円 (税込)

メンバーシップ開始記念キャンペーン

今だけ

初月のみ

月額 **980** 円 (税込)

無料体験実施中！

詳しくは裏表紙をご参照ください。

小中学校のお子様について

小中学校のお子様については18歳以上の保護者の方に同伴して入館頂くことが可能です。来館時に受付担当者に保護者である旨を伝えてREDEEに入館し、講義中のお子様の補助を行い、一緒に自己学習に取り組むことができます。(お子様1名につき付添1名まで)